

地域づくり団体 全国研修交流会

福井大会

11月16・17日に行われた、
全国研修交流会福井大会の
レポートをお届けします。

幸福度 No.1 日本のまんなか福井から地域力発信 ～「越山若水」歴史・自然と食が織りなすふるさとづくり～



各分科会▼

第1分科会

戦国ロマンの歴史がたどる悠久の里
～いいとこやぞー乗・東郷いっぺん来てみねの～
戦国ロマンの歴史を肌で感じながら、昔の食文化・おもてなし・まちおこしについて学びます。

第2分科会

昼と夜は別の顔！片町・呉服町の魅力
～城下町からの発展。老舗・職人技を魅せます！その後は…～
「まち歩き」の取組から、各商店の魅力アップと地域文化・地域経済の活性化について学びます。

つるが鉄道と港の夜明け物語
～敦賀を支えつづける人々の想い～
鉄道と港のまちとして栄え、「東洋の波止場」と呼ばれた歴史や文化に触れながら、地域づくりについて考えます。

第3分科会

来て見て越前海岸フェア
～夕日の美しい越前海岸でのまちづくり～
自然（タカラ）を再発見して取り組む人情味溢れる活動について、本音で語り合います。

人と地域がキラリと光るまちづくり
～「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」からの発信～
豊かで壮大な自然景観を体験し、地元特産を活かしたコミュニティビジネスについて学びます。

第4分科会

伝統的な町並みを活かしたまちづくり
～ベンガラ格子が灯る町・小浜西組/鑓街道の宿場町・熊川宿～
2つの重伝建の町並みを散策し、伝統的な町並みを守り、活かすための取組について学びます。

あわらの魅力、おしえるざあ
～地域のたからを生かしたまちづくり～
授かった宝である「温泉」をキーワードに展開する様々な事業に触れ、地域の活性化について考えます。

**越前しらやま発 五感で感じる！
「ほたるの里の「ほたるカフェ」**
～地域の宝で拠点づくり～
人も生き物も共生する元気なまちづくりについて学びます。

第5分科会

地域の発・古くて新しい食文化の発信
～河和田の魅力体験と交流によるまちづくり～
伝統工芸と地場食材による食文化の情報発信をする河和田で、食文化とおもてなしの心を学びます。

**帯の町三国湊に残る
歴史と文化を活かしたまちづくり**
～三国再発見からのまちづくり～
多くの文豪が愛した情緒漂う小径を歩き、まちづくりについて語り合います。

禅の里永平寺を活かしたまちづくり
～心のふるさと 永平寺へようこそ～
大本山永平寺の歴史的な資源を活用し、地区全体を盛り上げる取組について学びます。

第6分科会

地域発・古くて新しい食文化の発信
～河和田の魅力体験と交流によるまちづくり～
伝統工芸と地場食材による食文化の情報発信をする河和田で、食文化とおもてなしの心を学びます。

あわらの魅力、おしえるざあ
～地域のたからを生かしたまちづくり～
授かった宝である「温泉」をキーワードに展開する様々な事業に触れ、地域の活性化について考えます。

**越前しらやま発 五感で感じる！
「ほたるの里の「ほたるカフェ」**
～地域の宝で拠点づくり～
人も生き物も共生する元気なまちづくりについて学びます。

第7分科会

地域の発・古くて新しい食文化の発信
～河和田の魅力体験と交流によるまちづくり～
伝統工芸と地場食材による食文化の情報発信をする河和田で、食文化とおもてなしの心を学びます。

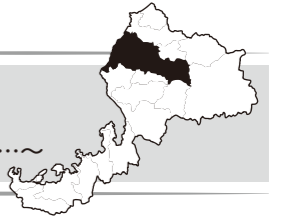
あわらの魅力、おしえるざあ
～地域のたからを生かしたまちづくり～
授かった宝である「温泉」をキーワードに展開する様々な事業に触れ、地域の活性化について考えます。

**越前しらやま発 五感で感じる！
「ほたるの里の「ほたるカフェ」**
～地域の宝で拠点づくり～
人も生き物も共生する元気なまちづくりについて学びます。

福井市（まちなかコース）

第2分科会

昼と夜は別の顔！片町・呉服町の魅力
～城下町からの発展。老舗・職人技を魅せます！その後は…～



ながめ黒子の会 椎名 祐司さん



今回、福井県には平成10年第8回大会に次いで2度目の訪問となりました。前回の第8回大会では、1日目の全体会で群馬県を代表して事例発表を行うとともにパネリストとして壇上にいたため、緊張感の中での大会だったように記憶しています。

15年ぶりの福井大会第2分科会では期待したとおり充実した時間を過ごすことができました。

片町・呉服町は福井市内の中心にあり、多くの商店街が集中している繁華街でもあります。第2分科会を担当した「ふくい片町青年会」の皆さんは、片町商店会の青年会として魅力ある街づくりを掲げ、現在12名で活動しています。片町青年会は、各商店の魅力アップと地域文化・地域の活性化を目指しながら、わがまちの魅力再発見として「まち歩き」に取り組んでいます。

第2分科会では、「片町・呉服町ぶらりつまみ食い」「片町・呉服町職人技と体験」の2つのコースが用意され、片町青年会天野副会長のガイドで「片町・呉服町ぶらりつまみ食い」に参加しました。創業弘化4年の福井名産羽二重餅の錦梅堂をはじめ昆布店、碌寶焼き和菓子店、18代当主が経営する醤油醸造店、創業文化元年の塩雲丹（うに）店など100年から400年以上の歴史ある5店舗を廻りながらその店の歴史や地域文化の魅力を堪能しました。まち歩き終了後は、交流施設「どまん館」において、

福井市まちづくりセンターによる空き店舗活用の取り組みや福井大学生が主宰する福大EMP実行委員会の「子どもまち歩き体験」などの事例が報告され、参加者も交えて熱心な意見交換会が行われました。老舗3代目・4代目の若い後継者や福大の学生たちが一緒になって地域を考えていく取り組みには力強いエネルギーを感じました。

午後6時から食事交流会が行われ、福井の地酒をはじめ参加者が持参した地酒や銘菓が次々と登場し、夜は瞬間に更けていきました。

2日目は、第1・第2・第3分科会の参加者が合流し、福井市立郷土歴史博物館・名勝養浩館庭園を見学しました。

その後、福井市役所会議室に移動し、参加者全員による10班編制のワークショップ（みんなで一緒に話そっせ）が開かれました。ワークショップでは、福井市分科会の参加者とスタッフが分科会での感想やこれからの地域づくりのヒント、手法について自由に意見交換を行いました。7班に参加し、司会進行を努めさせていただきましたが、「こどもたちの感性を育てていくことが大事」「若者をどう地域につなげていくか」「市民が行政をうまく活用することが必要」「地域づくりにはキーパーソンが必要」など各グループからも多くの意見がだされました。1時間30分のワークショップも瞬間に過ぎ、意見交換の時間が足りないほど参加者の皆さんがそれぞれ地域での実践活動を熱く語りました。

福井市では充実した時間を過ごすことができましたが、設営にあたっては細かい点まで「おもてなし」の心で接してくれた片町青年会はじめスタッフの皆さん、事務局を担当してくれた福井市総合政策室の皆さんには感謝と敬意を表したいと思います。本当にありがとうございました。